

【Accopsニュースレター】 2026.2.19 製品不具合（HySecure）について

2026/09/17 19:03:17

記事印刷

区分:	ACCOPS FAQ::01. お知らせ	投票:	0
ステータス:	公開 (全員)	結果:	0.00 %
言語:	ja	Last update:	2026/04/13 - 19:34:04

症状 (公開)

問題 (公開)

解決 (公開)

（追記）本件については、HySecure 7.3にて既に改善済みとなります。
HySecure管理コンソールにおける Chrome v145 以降の互換性問題について
平素よりAccops製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。
現在、HySecure管理コンソールにおいて、Google Chrome v145以降および Microsoft Edge を含むChromium
ベースのブラウザで、
UI の互換性に関する問題が発生していることを確認しております。
これにより、一部画面が正しく表示されず、管理コンソールの機能が制限される場合があります。

■ 原因と発生事象

本事象は、Google Chrome v145 以降においてXSLTプロセッサのサポートが削除されたことに起因しており、
HySecure管理コンソールの一部画面で正しく描画できない事象が発生しております。
具体的には、ACL、Appsなどの複数の画面にて、選択した値に応じて表示されるオプションであるにも関わらず、
値を選択する前から表示されてしまうことで、常時不要なオプションが表示されてしまうという事象が確認されております。
なお、本件はユーザーポータルには影響せず、エンドユーザへの影響はございません。

■ 推奨される暫定対応策

以下いずれかの方法をご検討ください。
・ オプション1 : Google Chrome をバージョン 144.xx 以前へダウングレードする。
（当該バージョンでは正常に動作します）
・ オプション2 : Mozilla Firefox を使用して HySecure管理コンソールにアクセスする。
※クライアントからログインした後、以下のようなHySecure管理コンソールのURLをコピーし、
Mozilla Firefox のURL欄にペーストすることでアクセスできます。
[1]http://xxx.xxx.xxx.xxx/fes-bin/index_new.html

・ クライアントにログインした後、右上のメニュー より「Webアプリケーションの設定」を開くと、
デフォルトブラウザを使用するかどうかを選択することが可能となります。
OSにてデフォルトブラウザを「Mozilla Firefox」に設定の上、このオプションを有効化することで、
HySecure管理コンソールへアクセス時に、自動的に「Mozilla Firefox」が開くようになります。

■ 短期対応について

現在、Google Chrome v145以降および将来のバージョン、ならびにその他の Chromiumベースブラウザにおいて
互換性を回復するための軽量なChrome拡張機能（プラグイン）の提供を進めております。

■ 長期対応について

短期対応と並行して、HySecure管理コンソールのUIアーキテクチャ全体の包括的な改善にも着手しております。
本アップデートにより、XSLベース技術への依存を解消し、Google Chrome v145以降および将来のバージョン、
ならびにすべてのChromiumベースブラウザとのネイティブ互換性が確保されることになります。
本対応版は近日中のリリースを予定しております。
ご不便をおかけしておりますことをお詫び申し上げますとともに、
何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。
（追記）本件については、HySecure 7.3にて既に改善済みとなります。

[1]
https://clt1711708.benchurl.com/c/I?u=139491A7&e=1B08CF2&c=1A1E5C&&t=0&l=495C4BC4&email=BrHF8rGF11w9%2FrtFHSdBWgYMSHjRzAyo
&seq=1

Related Product, Service (公開)